

ハイブリッドメガ団地による地域農業活性化 JA岡山加茂川ぶどう部会

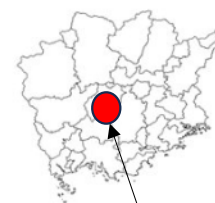
岡山県加賀郡吉備中央町円城578-1
TEL : 0863-41-1181

経営概要 ▶



- ◆経営面積：17.5ha
- ◆栽培品目：ピオーネ、シャインマスカット
- ◆部会員：44戸
- ◆岡山県農林漁業近代化表彰（令和2年）
日本農業省「集団組織の部」大賞受賞（令和5年）

【取組の経緯】平成22年町営牧場の休止決定により跡地利用が課題となり、関係機関による検討の結果、平成24年3月に町がぶどう産地拡大のために活用することを決定。



吉備中央町



ハイブリッド生産団地

従来の施設整備に加え、担い手の確保・育成、新技術の研究開発観光等の複数の目的をもつ産地

特徴的な取組 ▶



◆ぶどう産地の規模拡大、活性化に向けた取組

ぶどう産地の規模拡大に向け、町・JA・ぶどう部会・農業公社などの関係機関が連携し牧場跡地を利用した、ぶどうのハイブリッド生産団地を整備するとともに、新規就農者を積極的に受け入れている。

◆生産性向上に向けた取組

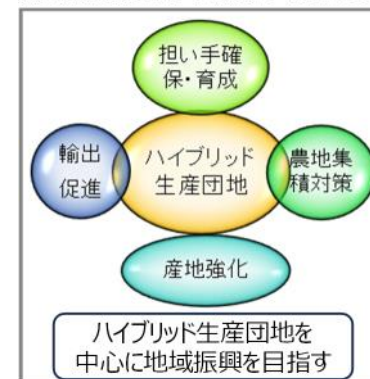
産地拡大の優良農地対策として、水源確保、跡地の原型を生かした区画配置、パイプラインなどのかんがい施設を整備。

◆担い手確保に向けた取組

多様な担い手確保に向け、団地内に研修ほ場を設置し、研修後に、新規就農者本人に貸付けるなど初期投資を軽減する取組等を実施。

◆取組の成果

平成23年～令和5年の間で部会の農家数が26名から44名に、栽培面積も6.4ha～16.5haに増加。この内、新規就農者が半数以上を占め将来の生産団地を支える担い手が確保できた。現在、ぶどう部会としての販売額は2億8千万円、生産量が153トン。ぶどう生産団地の新規就農者が定住し、地域住民との交流を通しての地域活性化を実現。



シャインマスカット園地



出荷場の様子

取材年月日：令和6年8月22日

今後の展望 ▶

- ◆マーケットインの考えの下、「儲かる農業」を目指し、アジア地域への輸出を促進するため、輸出国の基準に合わせて生産している。ぶどうをはじめとした地域の特産品をPRし、今後も地域内外から就農者を迎え入れ、関係人口の増加による地域活性化を目指す。